

## 第37回社会人野球日本選手権大会 1回戦地元地区シードの決定方法について

### ■運営原則

開催地主管地区連盟は、原則として以下の順位で地元地区シードとするチームを決定する。  
ただし、各地区連盟の事情により順位を変える事はできるが、あらかじめその順位は公開するものとする。

### ■地元地区シードの考え方

開催会場	主管地区連盟	地元開催枠	シード優先順位
日立市民運動公園	関東地区連盟	4	①都市対抗優勝チーム ②東京スポニチ大会優勝チーム ③北関東所属チーム※1 (複数チームの場合の順位は別に定める) ④対象JABA大会優勝チーム※2 (複数チームの場合の順位は別に定める) ⑤各地区最終予選代表チーム
岡崎市民球場	東海地区連盟	4	①都市対抗優勝チーム ②対象JABA大会優勝チーム※3 (複数チームの場合の順位は別に定める) ③各地区最終予選代表 ④クラブ選手権優勝チーム
わかさスタジアム京都	近畿地区連盟	4	① 都市対抗優勝チーム  ② JABA大会で3つ優勝したチーム 【複数の場合の優先順位】 I. 京都大会優勝 II. 参加16チームの大会優勝 III. 参加12チームの大会優勝  ③ JABA大会で2つ優勝したチーム 【複数の場合の優先順位】 I. 京都大会優勝 II. 参加16チームの大会優勝 III. 参加12チームの大会優勝  ④ クラブ選手権優勝チーム  ⑤ JABA大会で1つ優勝したチーム 【複数の場合の優先順位】 I. 京都大会優勝 II. 参加16チームの大会優勝 III. 参加12チームの大会優勝  ⑥近畿地区最終予選 * 順位を決定する 基本代表枠=1位・2位決定 敗者ゾーンで3位・4位決定 増枠の場合=5位～ の代表決定(ダブルヘッダーもあり) *JABA大会「参加16チーム、または12チームの大会」の優先順位 =わかさスタジアム京都から遠距離の大会に出場したチーム
倉敷マスカットスタジアム	中国地区連盟	4	①都市対抗優勝チーム ②クラブ選手権優勝チーム ③対象JABA大会優勝チーム (複数チームの場合の順位は別に定める) ④各地区最終予選代表 *中国地区からの代表チーム数が4枠に満たない場合、 以下の順位でシードチームを決める。 a. 四国地区の代表チームをシードに加える。 ただし、四国地区の代表チームの優先順位は以下の順とする。 ①都市対抗優勝チーム ②JABA大会優勝チーム※4 (複数チームの場合の順位は別に定める) ③クラブ選手権優勝チーム ④最終予選地区代表チーム  b. 中国、四国地区の代表チームの合計が4に満たない場合、 九州地区の代表チームを加える。九州地区の代表チームの 優先順位は以下の順とする。 ①都市対抗優勝チーム ②JABA大会優勝チーム※5 (複数チームの場合の順位は別に定める) ③クラブ選手権優勝チーム ④最終予選地区代表チーム

## 【別紙1】

- ※1 :北関東所属チームの優先順位  
北関東地区(茨城、栃木、群馬)に所属するチームが代表権を得た場合、以下の順で地元シードを決める。ただし、全日本クラブ選手権大会優勝は除くものとする。  
・茨城県所属⇒群馬県所属⇒栃木県所属
- ※2 :JABA大会優勝チームの優先順位(関東)  
対象JABA大会の優勝チームが複数ある場合、優勝した大会の開催日が早い順にシードする。  
・静岡⇒四国⇒日立市長杯⇒岡山⇒長野⇒京都  
⇒ベールース杯⇒九州⇒東北⇒北海道の順とする。
- ※3 :JABA大会優勝チームの優先順位(東海)  
対象JABA大会の優勝チームが複数ある場合、優勝した大会の参加チーム数が多い順と開催日が早い順にシードする。  
・東京スポニチ⇒静岡⇒岡山⇒京都⇒九州⇒四国  
⇒日立市長杯⇒長野⇒ベールース杯⇒東北⇒北海道の順とする。
- ※4 :JABA大会優勝チームの優先順位(中国)  
対象JABA大会の優勝チームが複数ある場合、優勝した大会の開催日が早い順にシードする。  
・四国⇒岡山の順とする。
- ※5 :JABA大会優勝チームの優先順位(九州)  
対象JABA大会の優勝チームが複数ある場合、優勝した大会の開催日が早い順にシードする。ただし、九州大会優勝チームは最優先にシードする。  
・九州⇒東京スポニチ⇒静岡⇒四国⇒日立市長杯⇒岡山  
⇒京都⇒ベールース杯